

■ H.A.L.'s Circle Review — 配信 5,000 号達成によせて

ハルズサークルの皆様

ダイナミックオーディオ 5555 川又店長

このたびは「H.A.L.'s Circle Review」配信 5,000 号達成、誠におめでとうございます。
個人の SNS などとは異なり、5,000 号という回数を積み重ねてこられたことは、本当に驚異的なことであり、オーディオ業界に携わる者の一人として、心から敬意を表したいと思います。

そもそも、メーカーや輸入商社である我々が川又さんに対して信頼を寄せていなければ、レビューという形で製品を託すことはできません。そして、それを受け取って下さるお客様、つまり長年の読者でありファンの皆様がいなければ、この活動を継続することもできません。

レビューを読んだお客様が製品に興味を持ち、実際に購入する。
そして、その製品に満足することで川又さんやダイナミックオーディオ様への信頼がさらに深まり、また次のレビューに期待する。

そんな信頼の循環が 5,000 号という大きな節目につながったのではないのでしょうか。
そして、その根底にあるのは、川又さんのオーディオに対する情熱と、製品に対する真摯な姿勢なのだと思います。

ダイナミックオーディオ様は、言うまでもなくオーディオ専門店です。
企業として存続していくためには、最終的に販売につながる必要があります。

しかし、目先の販売だけを考えていては、これほど長くお客様から信頼され続けることは難しいのではないかと思います。

どれだけ美味しく通いたくなる定食屋であっても、一度でもお客様の期待を裏切ってしまうと、足が遠のいてしまう。それほど「期待に応え続ける」ということは、「最初に信頼を得る」こと以上に難しいことです。製品に対して真摯に向き合い、読者の期待を裏切ることなく、一つひとつのレビューを積み重ねてこられた、その積み重ねの先にある 5,000 号なのだと思います。

私自身も「H.A.L.'s Circle Review」にお世話になりました。私が開発し、2007 年に発売したレコード/CD 用の帯電イレーサーのことを今でも鮮明に覚えています。

当時は、レコードや CD の帯電を除去するという考え方自体が、まだ市場に十分定着していない時代でした。そんな中、川又さんがその製品の魅力を「H.A.L.'s Circle Review」で取り上げ、発信してくださいました。

その結果、ダイナミックオーディオ様だけで 400 台を超えるご注文を頂くことができました。これは私にとって大変ありがたい出来事であり、今でも川又さんには心から感謝しております。

弊社は2021年に立ち上げた、まだ6年目の若い輸入商社です。
現在取り扱っているブランドは、単に製品として優れているというだけではなく、その作り手の考え方や人柄まで含めて惚れ込んだものばかりです。

これからも会社設立時に掲げた「本当に良いと思うモノだけを輸入する」という初心を忘れずにいたいと思います。そして、「H.A.L.'s Circle Review」が5,000号という歴史を積み重ねてこられたように、私たちもお客様の期待を裏切ることなく、一つひとつの仕事に真摯に取り組み、長く続いていける会社を目指して努力してまいります。

「H.A.L.'s Circle Review」が、これからも末永く、多くのオーディオファンにとって楽しい存在であり続けることを、心より願っております。

改めまして、このたびは5,000号達成、誠におめでとうございます。

株式会社タクトシュトック
代表取締役 庵 吾朗